

# 山積する社会課題に あたらしい事業モデルで挑む、国内の牽引役



(左) 障害者保育ヘレンの現場 (右下) 全国に広がりを見せる「こども宅食」

親子の笑顔をさまたげる  
社会課題解決に取り組む

子どもの虐待報道を連日耳にし、待機児童問題は解決せず、ひとり親世帯の子どもの貧困率が50%を超える国、日本。

私たちの国は、先進国の中で最も早く超少子高齢社会に突入しました。

しかし、制度やセーフティネットの整備が追いついていない現状があります。子どもや子育て中の親にしわ寄せがきています。

不安定な背景の中、フローレンスは、国内の親子に関わる社会課題を、今までにない新しい事業モデルと政策提言によって解決しています。

団体は、2004年に設立し、

今では600名規模の国内最大級の認定NPO法人に成長しました。

子どもの虐待の半数は  
ゼロ歳ゼロ日児

子どもの虐待死の半数は予期せぬ妊娠を背景としたゼロ歳児の死亡です。国内で、2週間に1人赤ちゃんが虐待・遺棄死で亡くなっている現実があります。

フローレンスは、赤ちゃんへの虐待に対し「赤ちゃん縁組事業（特別養子縁組事業）」を運営しています。

悩む実母に寄り添い、実母が望んだ場合は赤ちゃんを新しい家族に繋げる事業モデルです。

また、就学前の子どもに対しても、保育園にソーシャルワ

## 新しい障害児 「医療的ケア児」が10年で倍増

周産期医療の発達により、500グラムの赤ちゃんも助かる時代になりました。

一方、経管栄養やたんの吸引などの医療的なケアを日常的に必要とする新しい障害児がここ10年で倍増しています。

医療的ケア児は24時間の介護を必要とするため、呼応するようには母親が職を失うケースが多くなっています。

フローレンスは親が就労しながら、医療的ケア児が保育を受けられるよう、日本初の障害児保育事業を運営しています。

また、ひとときも休めない親や就学年齢児の支援のため、訪問看護制度を使った新規事業もスタートします。

ひとり親をひとりにしない。  
支援実績11年

国内の子どもの7人に1人が相対的貧困状態にあります。原因の一つはひとり親の不安定な



雇用です。

フローレンスは、母親の就業継続を支援するため、2004年に日本初の訪問型病児保育事業を立ち上げました。2008年からは、病児保育をひとり親家庭に安価に届ける支援プランを運営しています。

安心して働ける環境はひとり親家庭の命綱となりました。恩返しにと後に寄付者となった方もいらっしゃるようです。

また、近年は行政と組み、支援を必要とする就学援助世帯に食品寄付を届ける「こども宅食事業」もモデル化しました。

新しいチャレンジは、  
支援者が支えている

フローレンスが取り組む新規事業は寄付をとくに原資にして



カーを置くなどの施策で、必要に応じた支援を行っています。



社会解決に寄付で参画したいと言ってくださる多くの方に、フローレンスの活動が支えられています。

「あってほしい未来の実現のため『寄付』という形で、投資をしている」とおっしゃる方もいらっしゃるいました。また、団体は、寄付控除対象の東京都の認定NPO法人であり、その信用の高さも魅力のようです。

フローレンスは、寄付支援者の皆さんと共に、社会変革に挑戦していく認定NPO法人です。



**Florence**  
認定NPO法人フローレンス

代表：駒崎 弘樹  
所在地：〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1-14-1 KDX神保町ビル4F  
TEL：03-6811-0903  
HP：https://florencia.or.jp/  
E-mail：kifu@florencia.or.jp  
創立：2004年4月

遺贈寄付金の使用先例  
団体の運営費、新規事業設立費、  
ひとり親支援、障害児支援事業、  
虐待防止、貧困支援、課題広報等